

【もっと多くの実を結ぶ為に】

名前 _____

【聖書箇所】 ヨハネ15章1～6節

15:1 わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父は農夫です。15:2 わたしの枝で実を結ばないものはみな、父がそれを取り除き、実を結ぶものはみな、もっと多く実を結ぶために、刈り込みをなさいます。15:3 あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことばによって、もうきよいのです。15:4 わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。同様にあなたがたも、わたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。15:5 わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。15:6 だれでも、もしわたしにとどまっていなければ、枝のように投げ捨てられて、枯れます。人々はそれを寄せ集めて火に投げ込むので、それは燃えてしまいます。



●もっと多くの実を結ぶために、剪定される事を覚えよう。

主イエスは、私達がより多くの実を結ぶ事を期待しておられる。それゆえに、剪定し、余分な枝を切り取って実を結ぶ枝だけにされる。剪定される時には、痛みを覚える。これは、私達クリスチャンにとっては、訓練を意味し、具体的には、苦難や試練という形で訪れる。



人生に苦難や試練が訪れる時、今まで、主イエス以上に頼っていた事柄や大切にしていた事柄が取り扱われる。試練の時、お金や名誉、仕事、家族、その他、どんなに大切に、普段頼りにしているものであっても、それらは神のように頼る事ができない事を知らされる。そのような時、私達は、今まで以上に真剣に聖書の御言葉を探し求め、聖書の約束を握ってひたすらに祈るようになる。そのような事を通して与えられた御言葉や、祈りの答えは、生涯にわたり人生の不動の礎となる。又、神を第1にしていく生き方こそ、最も安全で平安な人生である事を体験するようになる。

又、苦難や、試練を通して、自分の弱さを知らされる時に、より深く他者を思いやり、隣人を愛する事ができるようになる。

時に私達が、苦難や試練の中を通らされるのは、より多くの実を結ぶ為に、私達の信仰が深められ、品性が整えられる剪定の機会である事を私達は心に刻もう。

●心に残った事、決心した事を記しましょう。
